



## 茂原市に感謝し、 教職人生に感謝する

茂原市立茂原中学校

山田 育雄

大学を卒業し体育教師として茂原市に勤務できた。それから、三十八年の教員人生（茂原市勤務三十二年）を振り返ると、苦しいこと・辛かったこと・悩んだことが脳裏に蘇ると同時に、それ以上の喜びと楽しさと充実感、いろいろな人との出会いが蘇ってくる。

平成二十七年に現在の茂原中学校に校長として赴任した。校長職としては二校目だった。三十八年の教員人生中、この茂原中学校は自分の母校、故郷とも言える学校である。



平成十年から五年間体育教師として、教頭として平成二十三年から二年間勤務した。そして校長として三年間の勤務となる。体育教師としての五年間は、生徒の非行問題が叫ばれていた当時の社会背景を写した学校状況で、すべてのことに目の前だけを見て闘った。教頭としての二年間では地域の中

から勤務できた。

現在は、私の教員人生の母校とも言えるこの茂原中で勤務できていることに感謝と幸せを感じている。三十八

年前の学校現場と社会情勢と現在は大きく変化している。時代とともに、社会から期待される学校像・教師像は大きく変わってきた。

今の学校現場、職員は昔に比べ異常なほど時間が早く流れている。社会の要求・保護者の意識・

要望・子供の变化。その時間の早さの中で我々教職員も時代の変化、要求を敏感に感じ対応し、自分自身のスキルをアップさせながら、教師になった当初の夢と信念を忘れずに、仕事に責任と意地をもっていかなければいけない。

現在、校長としてこの変化の激しい、困難な教育現場の中、自分の教員歴の母校とも言える茂原中学校で、意欲的な向上心のあるゆかいな仲間とともに、教員最後の一年間を過ごしていることに心から感謝し幸せを感じている今日この頃である。